

2024年11月8日

各位

会社名 株式会社ポピンズ  
代表者名 代表取締役社長グループCEO 轟 麻衣子  
(コード番号 7358 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役専務執行役員CFO 田中 博文  
(TEL. 03-6625-2753)

## 業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に公表した2024年12月期通期連結業績予想の修正、及び特別損失（減損損失）を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2024年12月期通期連結業績予想の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 30,900	百万円 1,350	百万円 1,360	百万円 880	円 銭 90.50
今回修正予想（B）	31,500	1,380	1,390	630	64.76
増減額（B－A）	600	30	30	△250	
増減率（％）	1.9	2.2	2.2	△28.4	
（ご参考）前期連結実績	28,893	1,162	1,301	677	69.85

## 2. 修正の理由

売上高につきましては、エデュケア事業において令和5年度人事院勧告に伴う公定価格改定による助成金収入が増加したこと、ならびに成長ドライバーであるファミリーケア事業が想定を上回って拡大したことにより、当初計画比で増収となりました。

営業利益、ならびに経常利益につきましては、以下の影響を踏まえ、前回発表予想を若干上回る見込みとなりました。

- ＋) ファミリーケア事業において、ベビーシッターサービス中心に当初計画を上回る売上拡大および収益性向上があったこと（当初計画比120百万円増益）
- －) プロフェッショナル事業において、長期に亘り提供してきた大型研修2案件が受注に至らず、中・小型案件で受注挽回を進めたものの当初計画で想定する案件収益性を下回ったこと、加えて当期受注高のうち当期末までに売上計上可能な比率が当初計画比で低下したこと（当初計画比100百万円減益）
- －) エデュケア事業において、当初計画を上回る構造改革効果が創出されたものの、人財への投資として、令和5年度人事院勧告に伴う公定価格改定の対象とならない施設に勤務する保育職員等に対する、当初計画外の戦略的な処遇改善（独自改善分103百万円）による費用増があったこと
- ＋) 調整額（全社管理）において、管理強化により当初計画を上回るコスト抑制が進んだこと

当期純利益につきましては、「3. 特別損失（減損損失）の計上」に記載のとおり、保育所設備について減損処理に伴う特別損失の計上を見込んでおり、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

### 3. 特別損失（減損損失）の計上

エデュケア事業において、間接共通費を配賦した後に営業収支が赤字となる保育所の設備について減損処理に伴う特別損失376百万円を計上する見込み（内、363百万円について当期第3四半期において減損損失を計上済み）であります。

### 4. 配当予想

配当予想の変更はありません。

以上

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。